

NPO CHILDREN MEET ARTISTS ANNUAL REPORT 2019



特定非営利活動法人芸術家と子どもたち 2019年度活動報告書

ASIAS

PKT

ぞうしがや こどもステーション

2019年度の現場レポート

にじいろのなかまたち ～ふたつの児童養護施設の交流ワークショップ～

児童養護施設に関わるようになって10年近くが経ち、
昨年度文化庁が新しく立ち上げた事業に5年間を想定した企画を提案する時に、
ふと「いつかみんなで新幹線に乗って遠くへ出かけられないだろうか」と考えました。
まずは東京と埼玉の2つの児童養護施設の交流から始めた一年目。
そのドキュメント・ブックから一部を抜粋してご紹介します。

DATA

文化庁委託事業 「障害者による文化芸術活動推進事業(文化芸術による共生社会の推進を含む)」

主催：文化庁、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち

日程：2020年8月～2月までの計9回(各施設で1回ずつの発表を含む)

場所：各施設や近隣の公民館等

参加者：二葉むさしが丘学園(東京都小平市)、児童養護施設カルテット(埼玉県さいたま市)

小学2年生～高校3年生及び施設退所者 15人

アーティスト：セレノグラフィカ(ダンスカンパニー)、港大尋(音楽家)



どんなワークショップだった？

場所

2つの施設を行き来する
だけではなく、地域の
公民館や音楽スタジオを活用。
知らない場所に出かけて
いくことで、少しの緊張と
ワクワクが増えました。

タイコのリズム

タイコを叩いたり
うたったり、全身を使って
リズムを味わいました。
楽譜も技術もいらなくて、
その場で一緒にリズムを
奏でることから音楽や
ダンスが生まれて
いきました。

おどること

相手を真似したりペアを
交代したりいろんな関わりを
経験。決まった振り付けが
なくても、相手がいる、
少しのルールがあって、
そこから自然と動きが
引き出されていきます。

参加した子どもたちから

- ・やっていくうちに仲良い子ができたりして、知らないところなのに近づいていく感じがして楽しかった。(Yさん・高校生)
- ・他の場所でやったりいろんなこと経験できた。他の施設の人とやったのはいい経験になった。(Aさん・高校生)

関わってきた大人たちから

- ・このワークショップが始まってから、参加している子どもたちの笑顔が増え、とても楽しんでいた様子でした。高校生が小さい子たちに積極的に関わっていたのを見て、施設間の子どもたちに年齢差があったことも良かったのではと思います。また、ワークショップが外に出るきっかけになったのも良かった。(カルテット職員 吉田さん)

施設職員コラムより抜粋

『時間と空間を共有すること』 二葉むさしが丘学園 鈴木章浩
このワークショップでは、それぞれのアーティストが持つアプローチにより、心に傷を負っている子どもたちに、少しずつ、「あなたらしい表現をしていい」「あなたは、あなたのままでいい」というメッセージを送っている。アーティストの関わりは、「五感を使う」「身体を大切にすること」など言葉では伝えられないもの、言い表すことが難しいものを体感させていく。何気ないパフォーマンス、コミュニケーションの中に「意味」「目的」がたくさん詰まっている。他者の共感を知るといふことと同時に子どもたちが自信を持てる空間、時間が、そこにはある。

CD付ドキュメント・ブック『にじいろのなかまたち』

アーティストエッセイやコラム全文のほか、子どもたちの歌や演奏を録音したCD付ドキュメント・ブックを2020年3月に発行。

ウェブサイトからご覧いただけます。

children-art.net/post_public/post_public-4501/



代表挨拶



2019年度1年間で、芸術家と子どもたちでは、計3,570人の子どもたちに、延べ410日間、プロの現代アーティストによるワークショップ等を実施しました。本当は、延べ442日間になるはずでした。2月下旬から、新型コロナウイルスの影響

により、12の現場で事業の続行や開催が困難となり中止を判断し、なかには、何日間にもわたってワークショップを重ね成果発表会目前で中止の現場もありました。感染拡大を防ぐため致し方ないとわかってはいても、アーティストもスタッフも、学校や施設の先生方も、そして何よりも子どもたちみんなが、悔しくて、悲しくて、やるせない気持ちになったと思います。人と人との接触を避けなければいけないという状況は、これまで生身の人間同士の関係や身体性、言葉以外のコミュニケーションを大事にしてきた我々にとって、大きな試練です。デジタル通信やIT等を介したコミュニケーションや創作の可能性ももちろんありますが、現代の子どもたちには実際に五感を使って触れ合うことの素晴らしさを体験してほしいし、そのような体験が必要だという思いに変わりはありません。コロナ後の世界を見据え、我々が何をすべきか、何を継続し何を変えていくべきかを考えていこうと思います。

さて、2020年3月、未来を強くする子育てプロジェクトスミセイ未来賞をいただきました。これまで当団体を支えてくださった皆様のおかげと感謝します。この賞に限らず、教育や福祉、文化など様々な関係機関から、当団体の活動を評価していただいております。また、多くの個人の皆様から継続的にご寄付をいただき、私どもの足元を支えていただいております。これらの皆様からの期待に応えられるよう日々精進し、新たな社会的な価値を生み出していく所存です。引き続きのご支援をどうぞよろしく願い致します。

特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち代表 堤 康彦



©羽鳥直志

すべての子どもたちに、 アーティストとの出会いの場を！

芸術家と子どもたちは、家庭環境や障害の有無に関わらずすべての子どもたちにアーティストとの出会いの場を提供し、創造的活動を通して、自分と他者の良さ、違い、多様性を認めあい、豊かな関係をつくることを目指しています。

なによりも現場が一番。“コーディネーター”という役割

芸術家と子どもたちのスタッフは、代表の堤も含めた全員がコーディネーター。

ワークショップが子どもたちや学校・施設、アーティストにとってより豊かな体験となるよう、日々奔走しています。

コーディネーターの仕事

学校の先生や施設の職員とのコンタクト

ワークショップを行う担当の先生や職員と事前に面談。
どんなことをやりたいか、どんな子どもたちか、
先生や職員ご自身のこの取組みに対する想いなどを丁寧にヒアリングします。

アーティストの選定

先生や職員からヒアリングした内容を考慮して最適なアーティストを選定します。
日頃からアーティストを発掘することも大切な仕事のひとつ。

アーティストと先生・職員との事前打合せ

アーティストと学校や施設へ出向き、ワークショップの内容を相談します。
普段違う世界で働く両者の間に立ち、信頼関係構築の土台を作ります。

ワークショップ（授業）の実施

準備物や段取りの確認やボランティアスタッフの手配をし、いよいよ当日。
先生や職員には子どもたちがより生き活きと活動できるよう率先して参加したり、
子どもたちへのフォローをしてもらえるよう促します。
ワークショップ中はアーティストがスムーズに進行できるようサポートしたり、
ワークショップが子どもたちの内面にどんな影響を与えているのか読み取ります。

ふりかえり

ワークショップ終了後、アーティストと先生・職員とのふりかえりをします。
内容や子どもたちの様子はどうだったかなどを意見交換して今後につなげます。



MAYU
NAKANISHI



YUKA
YOSHIKAWA



TAKAKO
INOUE



JUNKO
ITOKAWA



NANA
NAGATA



NANAKO
KUBOTA



AZUMA
FURUKAWA



MAI
WATANABE

ASIAS

エイジias



芸術家と子どもたちの活動の主軸となるのが ASIAS (Artist's Studio In A School)。小中学校や児童養護施設など、子どもたちが日常を過ごす場に表現とコミュニケーションのプロであるアーティストが訪れます。

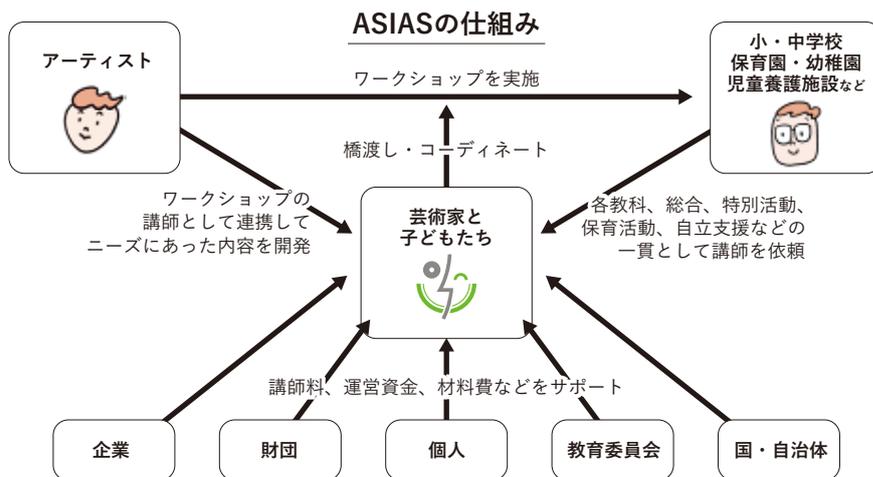
活動形態①

先生・職員から直接
依頼を受けて実施

ASIASに興味のある都内の公立小中学校・児童養護施設などから直接ご連絡をいただき、実施します。

活動形態②

教育委員会や自治体などと
協働して実施



双方向型のワークショップが もたらすもの

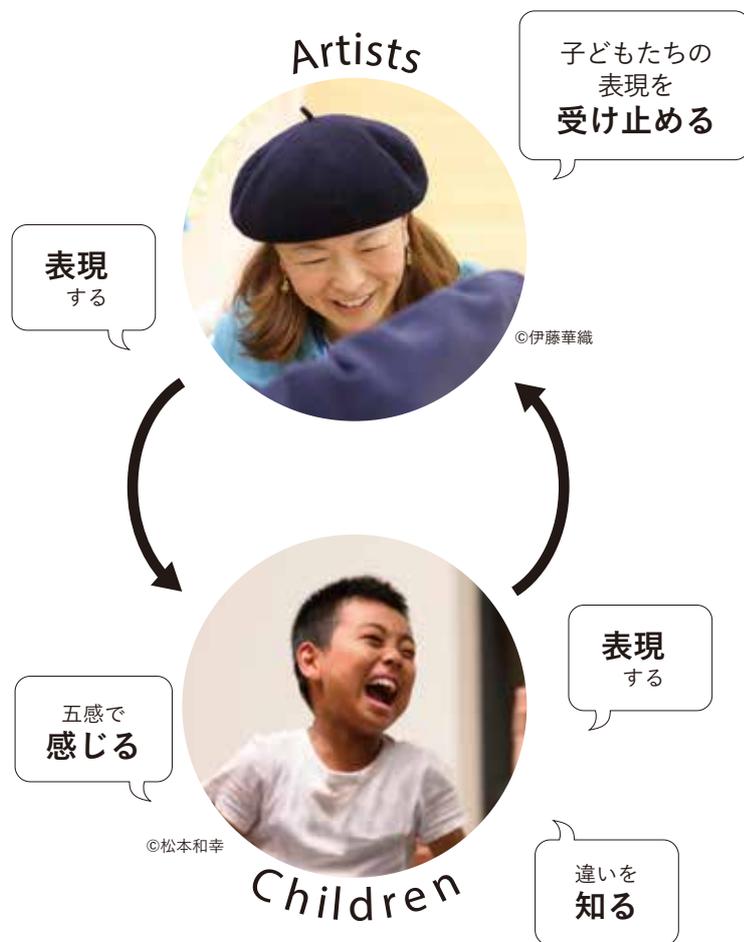
私たちが展開するのは一方向の講義や鑑賞型プログラムではなく、コミュニケーションやプロセスを重視するワークショップ型授業。アーティストと子どもたちや、子どもたち同士がたがいに刺激を受け双方向の関係性を築きながら活動します。ワークショップでは、子どもたちは音の変化や他者との身体的な触れ合いなど五感を通じて様々な刺激をインプットし、身体感覚を研ぎ澄まさせていきます。その結果としてアウトプット（表現）が生まれます。子どもたち一人ひとりによって違う感覚や表現と向き合うことは、子どもたちが自分だけの表現に気づいたり、自分とは違う友達の表現を認めることにもつながります。

公立小中学校でのエイジアス

～子どもたちの「日常」にアートを届ける～

美術館では子ども連れの家族を目にするもありますが、日常的にアートに触れる暮らしをしている家庭の割合は低く、子どもがアートに出会う機会は家庭環境に大きく左右されます。親の興味関心や経済状態によって、子どもたちの文化的格差が生じているのが現状です。

「あらゆる子どもたちにアーティストと出会う機会を提供したい」そんな思いから、子どもたちの日常生活の場である学校の授業へアーティストを派遣するエイジアスが始まりました。当たり前だと思っていたことや友達とのいつもの関係にアーティストが介入すると、少し変化が生じるような体験。こういった大小さまざまな化学反応が連続的に起こるのがエイジアスのワークショップです。



特別支援学級や特別支援学校でのエイジアス

アーティストと一緒に特別支援学級や特別支援学校、障害児入所施設など障害のある子どもたちがいる場所に向いて活動しています。担当教員・職員の方と意思疎通を図り、活動方針・方法を共有しながら数日のワークショップを実施する取り組みです。

アーティストも目を見張る子どもたちの表現力！

障害のある子どもたちは、その特性ゆえに、独特の身体感覚を有していることがあります。細部にこだわる子どもが繊細で素晴らしい絵を描いたり、聴覚過敏の子どもが通常聞こえない周波数の音で身体をゆらすなど、その感覚が特異な才能として発揮されることがあります。エイジアスでは、障害の有無に関わらず彼らがいま何を感じ取っているのかを丁寧に読み解くことを目指します。

障害のある子どもが感じる分断を取り払う

彼らと活動することで他の子どもたちも新しい感覚と出会い、新しい表現が生まれていきます。「マイノリティ」として分断され、周囲と馴染めず生きづらさを感じがちな障害のある子どもたちですが、彼らの考え方や行動にふれ、子ども一人ひとりが他者との違いを認め合い、そこから一緒に何かを生み出す場をつくっていきます。

例① 身体表現

言葉を使わない身体でのコミュニケーションを楽しんだり、楽器の音や音楽にのせて思いっきり全身を動かして、心も身体も開放したり…。自分や友だちの身体と向き合いながらお互いの表現を味わいます。

例② 音楽

いろいろな楽器に出会い、身近な物も楽器にしながら音やリズムを全身で感じて楽しむ時間。言葉にならない気持ちをうたにするなど、音楽を通したコミュニケーションの場をつくります。



児童養護施設でのエイジアス

児童養護施設で暮らす子どもたちには、施設だけでは抱えきれないほど様々な課題があります。約6割が虐待を受けた経験があり、その人数は年々増加*。また、何らかの障害がある入所児童の割合も増加しています。彼らは一般的な家庭で暮らす子どもたちに比べて大人との関わりが希薄で自分一人では心の安定を図れず、自己表現できず、SOSを出せない場合もあります。私たちは、アートを通じて様々な課題にアプローチするべく、経験と実績が豊富なアーティストを派遣し施設と連携しながらワークショップを実施しています。

※厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課『社会的養育の推進にむけて』（平成29年12月）より



PKT



パフォーマンスキッズ・ トーキョー

芸術家と子どもたちが、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京と実施しているプロジェクトです。ダンスや演劇、音楽などの分野で活躍するプロの現代アーティストを、都内の学校・ホール・児童養護施設などに派遣。

10日間程度のワークショップを行い、子どもたちが主役のオリジナルの舞台作品をつくり上げます。最終日に発表公演を行い、多くの方々にワークショップの成果を発信しています。



©松本和幸



©羽鳥直志



©羽鳥直志



©松本和幸

ぞうしがや こどもステーション



親子でいっしょに ホンモノのアートに ふれてあそぼう！

子育て中の親子・家族がいっしょに楽しめるあそびのスペース。芸術家と子どもたちが、豊島区文化デザイン課と一緒に運営しています。ダンス、音楽、演劇、絵本など、さまざまなジャンルのアーティストによる、0歳から小学生くらいまで*の子どもとその家族を対象にしたワークショップを開催。小さいお子さんと一緒に、ゆったりアートを楽しみながら参加者同士で交流できる地域の交流拠点です。ぞうしがや こどもステーションのプログラムは豊島区内の区民ひろばでも出張開催しています。

※子どもの対象年齢はプログラムにより異なります。

DATA

所在地 東京都豊島区雑司が谷3-1-7
千登世橋教育文化センターB1F

アクセス 東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅
2番出口直結
都電荒川線「鬼子母神前」駅 徒歩2分
JR山手線「目白駅」徒歩15分



©わたなべもも



©わたなべもも



©わたなべもも

2019年度活動実績データ

2019年度総合計

参加した子どもの人数 **3,570**人 実施日数延べ **410**日

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うワークショップの中止 - 計12事業 32日(外数)

◆ ASIAS 2019年度 実施一覧

参加児童・生徒数 **2,833**人 (95校・園・施設) 実施日数延べ **330**日

① 豊島区「次世代文化の担い手」育成事業 計9校園(幼稚園3園、小学校6校) 実施日数延べ16日

2005年度より豊島区教育委員会と協働で区立の幼稚園、小・中学校でASIASを実施しています。

名称	所在地	学年・学級 /クラス数	児童数	教科・領域	ジャンル	アーティスト	実施月	日数
西巢鴨幼稚園	豊島区	4・5歳児/2クラス	40		演劇	柴田千絵里	12	2
池袋幼稚園	豊島区	4・5歳児/2クラス	47		身体表現	城俊彦	6	1
南長崎幼稚園	豊島区	4・5歳児/2クラス	40		美術	外村友紀	10～11	2
西巢鴨小学校	豊島区	6年生/2クラス	44	総合的な学習の時間	身体表現	入手杏奈	11～12	3
池袋第一小学校	豊島区	3年生/1クラス	34	図工	美術	水内貴英	10	2
池袋小学校	豊島区	6年生/2クラス	57	図工	美術	塩川岳	12	1
要小学校	豊島区	4年生/2クラス	56	体育	身体表現	楠原竜也	9	1
		特別支援/固定級	12	体育	身体表現	楠原竜也	9～12	2
富士見台小学校	豊島区	6年生/2クラス	44	図工	美術	水内貴英	11	1
千早小学校	豊島区	3年生/2クラス	63	図工	美術	ビスタチオ	1	1

② アーツカウンシル東京「パフォーマンスキッズ・トーキョー」

計14校(小学校10校、中学校2校、特別支援学校2校) 実施日数延べ118日

計3施設(児童養護施設2施設、障害児入所施設1施設) 実施日数延べ21日

2008年度より公益財団法人東京都歴史文化財団との共同主催事業として都内公立小・中学校(特別支援学級含む)、特別支援学校、児童養護施設等でASIASを実施。

オリジナルの舞台作品を創作し、最終日に成果発表公演を開催します。

※詳細は15ページに記載

③ 文化庁「文化芸術による子供育成総合事業—コミュニケーション能力向上事業—」 計17校(小学校14校、中学校2校、特別支援学校1校) 実施日数延べ80日

2011年度より文部科学省・文化庁や教育委員会と協働で、都内公立小・中学校(特別支援学級含む)・特別支援学校でASIASを実施しています。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う中止-2校 計4日(外数)

名称	所在地	学年・学級 /クラス数	児童数	教科・領域	ジャンル	アーティスト	実施月	日数
第五大島小学校*	江東区	特別支援/固定級	13	体育・音楽・生活	身体表現	中村睿	1~2	6
東砂小学校	江東区	特別支援/固定級	23	音楽・図工	音楽	中ムラサトコ	2	4
幡代小学校	渋谷区	特別支援/固定級	21	生活単元	身体表現	加藤紗希	11~1	3
高井戸第二小学校	杉並区	特別支援/固定級	22	生活単元	身体表現	東山佳永	10~11	3
赤羽小学校	北区	特別支援/固定級	21	音楽	音楽	若鍋久美子	12~2	3
高島第一小学校	板橋区	特別支援/固定級	16	音楽・生活単元	音楽	イーガル	11~12	5
開進第三小学校	練馬区	6年生/3クラス	103	国語・特別活動	演劇	棚川寛子・加藤幸夫	10~11	5
北町小学校	練馬区	特別支援/固定級	21	生活単元	身体表現	向雲太郎	12~2	5
梅田小学校	葛飾区	特別支援/固定級	26	体育・生活単元	身体表現	青木尚哉	1~2	4
二上小学校	葛飾区	特別支援/固定級	26	生活単元	音楽	尾引浩志	10~12	6
長沼小学校	八王子市	特別支援/固定級	21	国語・体育・生活単元・特別活動	演劇	金子由菜	9~11	10
高倉小学校	八王子市	特別支援/固定級	25	音楽	音楽	石坂玄士	10	3
滝坂小学校	調布市	特別支援/固定級	16	体育・音楽・生活単元	身体表現	東野祥子	9~11	5
緑ヶ丘小学校*	調布市	1年生/2クラス	51	生活	身体表現	田畑真希	2	1
第四中学校	八王子市	特別支援/固定級	20	総合的な学習の時間・生活単元	演劇	渡辺麻依	11~2	10
立川第五中学校	立川市	特別支援/固定級	22	体育	身体表現	鈴木ユキオ	11~12	3
鹿本学園	江戸川区	小学部4~6年生/ ミュージッククラブ (肢体不自由学級・知的障害学級)	16	特別活動	音楽	片岡祐介	9~12	4

④ 一般(学校) 計9校(小学校5校、中学校2校、特別支援学校2校) 実施日数延べ21日

2000年度より当事務局へ直接お申込みいただいた主に公立小・中学校で、企業・財団・個人などの支援を受けてASIASを実施しています。

名称	所在地	学年・学級 /クラス数	児童数	教科・領域	ジャンル	アーティスト	実施月	日数
尾山台小学校	世田谷区	特別支援/固定級	26	生活単元	身体表現	楠原竜也	9~10	2
中野本郷小学校	中野区	特別支援/通級	11	自立活動	身体表現	岩淵貞太	10	4
第六葛西小学校	江戸川区	特別支援/通級	6	自立活動	音楽	石坂玄士	9	1
西巢鴨中学校	豊島区	特別支援/固定級	10	体育	身体表現	森下真樹	9	2
大塚ろう学校 (城東分教室)	江東区	幼稚部	17	音楽	音楽	港大尋	12	1
隅田小学校	墨田区	特別支援/固定級 1年生/2クラス	10 66	生活単元 生活科	身体表現	田畑真希	11	4
大泉小学校	練馬区	特別支援/固定級	12	音楽・体育	身体表現	北川結	10~12	2
明桜中学校	北区	特別支援/固定級	32	体育	身体表現	入手杏奈	1	3
鶴見養護学校	横浜市	中学部1年生	18	生活単元	身体表現	新井英夫	2	2

⑤ 横浜市「横浜市芸術文化教育プラットフォーム／学校プログラム」 小学校1校 実施日数3日

2007年度より横浜市芸術文化教育プラットフォームと協働で、横浜市立の小学校でASIASを実施しています。

名称	所在地	学年・学級 /クラス数	児童数	教科・領域	ジャンル	アーティスト	実施月	日数
高田東小学校	横浜市	4学年/2クラス	55	体育	身体表現	加藤紗希	9	3

⑥ 豊島区「子どものための文化体験事業」 計20園(公立保育園10園・私立保育園10園) 実施日数延べ20日

2007年度より豊島区文化商工部文化デザイン課と協働で、豊島区内の保育園などでASIASを実施しています。

名称	所在地	学年・学級 /クラス数	児童数	ジャンル	アーティスト	実施月	日数
駒込第一保育園	豊島区	4・5歳児/2クラス	43	音楽	荒井康太	9	1
駒込第二保育園	豊島区	5歳児/1クラス	21	身体表現	中村駿	12	1
西巣鴨第三保育園	豊島区	4歳児/1クラス	24	音楽	石坂亥士	9	1
東池袋第一保育園	豊島区	5歳児/1クラス	22	音楽	尾引浩志	11	1
池袋第五保育園	豊島区	4・5歳児/2クラス	41	音楽	石坂亥士	6	1
目白第二保育園	豊島区	4・5歳児/2クラス	38	音楽	石坂亥士	1	1
南長崎第二保育園	豊島区	4・5歳児/2クラス	40	身体表現	中村蓉	9	1
長崎保育園	豊島区	4・5歳児/2クラス	43	音楽	若鍋久美子	6	1
要町保育園	豊島区	4・5歳児/2クラス	40	音楽	関根真理	9	1
高松第二保育園	豊島区	4・5歳児/2クラス	43	身体表現	青木尚哉	10	1
西巣鴨さくらそう保育園	豊島区	4・5歳児/2クラス	49	身体表現	山田うん	9	1
西巣鴨・学びの保育園	豊島区	4・5歳児/2クラス	31	身体表現	加藤紗希	6	1
若草保育園	豊島区	5歳児/1クラス	29	身体表現	田畑真希	6	1
キッズガーデン南大塚	豊島区	4・5歳児/2クラス	18	身体表現	山田うん	6	1
グローバルキッズ西池袋園	豊島区	5歳児/1クラス	20	音楽	すなまき	8	1
いけぶくるこころ保育園	豊島区	3・4・5歳児/3クラス	13	身体表現	新井英夫	12	1
アスク池袋本町保育園	豊島区	4・5歳児/2クラス	19	音楽	若鍋久美子	10	1
めぐみ保育園	豊島区	4・5歳児/2クラス	38	音楽	若鍋久美子	6	1
アスク長崎一丁目保育園	豊島区	4・5歳児/2クラス	19	身体表現	楠原竜也	7	1
せんかわみんなの家	豊島区	4・5歳児/2クラス	40	音楽	荒井康太	9	1

7 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団「ふれあいアート事業」

計16園(私立保育園/保育室9園・公立保育園5園・公立幼稚園2園) 実施日数延べ26日

2008～2012年度は港区地域振興課と協働、2013年度、2016年度からは公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団と協働で、港区内の保育園・幼稚園などでASIASを実施しています。

名称	所在地	学年・学級 /クラス数	児童数	ジャンル	アーティスト	実施月	日数
南麻布保育園	港区	5歳児/1クラス	18	美術	ピスタチオ	6	2
台場保育園	港区	5歳児/1クラス	24	美術	ピスタチオ	6	2
高輪夢保育園	港区	5歳児/1クラス	12	美術	水内貴英	9	2
アンジェリカ田町保育園	港区	5歳児/1クラス	11	美術	長峰麻貴	11	2
太陽の子芝浦二丁目保育園	港区	4・5歳児/2クラス	16	美術	水内貴英	7	2
中之町幼稚園	港区	4・5歳児/4クラス	84	美術	塩川岳	8	2
たまち保育室	港区	5歳児/1クラス	26	美術	湘南台造形教室	6	1
あい保育園南麻布	港区	5歳児/1クラス	18	美術	中津川浩章	9	1
太陽の子赤坂保育園	港区	5歳児/1クラス	8	美術	中津川浩章	6	2
本村保育園	港区	5歳児/1クラス	18	音楽	渡辺麻依・金子由菜	6	2
ニチキッズ白金台保育園	港区	5歳児/1クラス	11	音楽	渡辺麻依・金子由菜	6	2
ゆらりん港南保育園	港区	5歳児/1クラス	10	音楽	渡辺麻依・金子由菜	12	2
麻布保育園	港区	5歳児/1クラス	30	音楽	渡辺麻依・金子由菜	10	1
本村幼稚園	港区	4・5歳児/2クラス	50	音楽	石坂玄士	7	1
志田町保育室	港区	5歳児/1クラス	35	音楽	関根真理	6	1
しばうら保育園	港区	5歳児/1クラス	34	身体表現	田畑真希	6	1

8 一般(児童養護施設など) 計6施設・箇所 実施日数延べ25日

2013年度より当事務局へ直接お申し込みいただいた児童養護施設で、企業・財団・個人などの支援を受けてASIASを実施しています。

名称	所在地	学年・学級 /クラス数	児童数	ジャンル	アーティスト	実施月	日数
子供の家	清瀬市	年中～19歳	6	演劇	棚川寛子	4～3	14
ベトレヘム学園	清瀬市	小学1～5年生	12				
ごほんの会	清瀬市	小学生～中学生	15	身体表現	新井英夫	1	1
おひさまネットワーク in 松山	清瀬市	小学生～高校生3年生	8	身体表現	新井英夫	2	1
二葉むさしが丘学園	小平市	小学2～高校2年生	8	身体表現・音楽	セレノグラフィカ・港大尋	8～2	9
カルテット	さいたま市	高校1年生～施設退所者	7				

◆ パフォーマンスキッズ・トーキョー (PKT)

2019年度 実施一覧

参加・出演した子どもの数 680人 発表公演鑑賞者数 3573人 実施日数延べ 181日

学校 14校 (小学校 10校、中学校 2校、特別支援学校 2校) 実施延べ日数 118日

ホール 5ホール 実施日数延べ 42日

児童養護施設等 3施設 実施日数延べ 21日

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う中止 - 3校・1ホール・2施設 計20日(外数)

	名称	所在地	学年・学級	児童数	教科・領域	ジャンル	アーティスト	実施月	日数	観覧者数(人)	
学校	昌平小学校*	千代田区	2年生/1クラス	34	国語、音楽、体育、総合的な学習の時間、図工、生活	身体表現	楠原竜也	12～2	6		
	月島第一小学校	中央区	6年生/2クラス	55	国語、音楽、体育、総合的な学習の時間	演劇	渡辺麻依	9～11	11	1420	
	第一大島小学校	江東区	6年生/2クラス	77	体育、総合的な学習の時間	身体表現	島地保武	7～11	8	120	
	入新井第四小学校*	大田区	6年生/2クラス	63	総合的な学習の時間	音楽	ASA-CHANG	2	3		
	大谷口小学校*	板橋区	6年生/1クラス	39	総合的な学習の時間・体育	演劇	阿部初美	9～2	7		
	八王子第九小学校	八王子市	6年生/2クラス	67	体育、総合的な学習の時間	身体表現	入手杏奈	10～12	9	160	
	立川第九小学校	立川市	特別支援/固定級	41	体育、生活単元	身体表現	田畑真希	5～7	7	20	
	氷川小学校	奥多摩町	1年生/1クラス	12	体育、生活	身体表現	長井江里奈	10～11	9	100	
	目黒第十中学校	目黒区	1年生/4クラス (男子のみ)	64	体育	身体表現	村本すみれ	1～2	7	100	
	三鷹第四中学校	三鷹市	特別支援/固定級	16	体育、生活単元	身体表現	松岡大	9～12	11	50	
	八王子盲学校	八王子市	小学部2～6年生	13	国語、音楽、体育、総合的な学習の時間	身体表現	新井英夫	7～11	10	370	
	中野特別支援学校	中野区	小学部4～6年生 (ダンスクラブ)	11	特別活動(クラブ活動)	身体表現	中村蓉	10～1	8	25	
	学校/ 島しょ部 ホール	新島小学校	新島	5～6年生	20	総合的な学習の時間、特別活動、体育	身体表現	五十嵐結也	6～10	10	200
		大賀郷小学校	八丈島	6年生/1クラス	23	総合的な学習の時間、特別活動、体育	身体表現	中村駿	11～2	12	230
新宿文化センター*		新宿区	小学3～6年生	16		身体表現	平原慎太郎	2	2		
大田文化の森		大田区	小学3～6年生	23		身体表現	康本雅子	8～9	10	180	
あうるすぽっと		豊島区	小学4～中学3年生	28		演劇	前嶋のの	7～8	10	230	
青梅市文化交流センター		青梅市	小学2～6年生	13		身体表現	鈴木ユキオ	1～2	10	103	
和光大学ボブリホール鶴川	町田市	小学3～6年生	22		身体表現	岩淵貞太	7	10	225		
児童養護 施設等	品川景德学園*	品川区	小学2～中学2年生	8		身体表現	辻田暁	9～2	6		
	聖ヨゼフホーム*	西東京市	幼児～小学3年生	9		身体表現	長井江里奈	8～2	7		
	友愛学園児童部	青梅市	小学3～高校3年生 小学2～高校2年生	19 7		身体表現	新井英夫	8～2	8	40	

※放課後等デイサービス対象の体験WSを実施

◆ぞうしがや こどもステーション 2019年度 実施一覧

計 36 日間 親子 469 組 1172 人参加 (大人 579 人・子ども 593 人)

開催期間 令和元年 5 月 12 日 (日) ~ 令和 2 年 2 月 16 日 (日)

開催曜日 土日祝 (ぞうしがや こどもステーション)、平日・土日 (区民ひろば)

対象 0 歳から小学生くらいまでの子どもとその家族 ※子どもの対象年齢はプログラムにより異なる

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う中止・ダンス 3 日、えほんの会 3 日、親子で楽しむえんげきシアター 1 日、合同ワークショップ 1 日 (外数)

プログラム名	ジャンル	アーティスト	日数	回数	親子組数	大人	子ども	同伴者 (子ども)	参加人数
ぞうしがや こどもステーション開催									
うた	音楽	港大尋 / 小津準策	6	6	77	93	88	6	187
音あそび	音楽	片岡祐介 / KAMOSU	6	6	57	75	65	7	147
ダンス*	身体表現	入手杏奈 / 岩淵貞太	5	5	48	58	51	11	120
えほんの会*	演劇	えほんず	5	5	74	95	79	11	185
親子で楽しむ えんげきシアター	演劇	ドロップ / へんてこドロップ / (棚川寛子)	3	3	58	67	78	2	147
絵本作家シリーズ	美術	飯野和好	1	1	10	11	13	0	24
合同ワークショップ*		(岩淵貞太、小津準策、尾引浩志、えほんず)	-	-	-	-	-	-	-
区民ひろば開催									
うた	音楽	港大尋	2	2	37	53	47		100
音あそび	音楽	片岡祐介	4	4	39	48	57		105
ダンス*	身体表現	入手杏奈	1	1	15	15	17		32
えほんの会*	演劇	えほんず	3	3	54	64	61		125

◆その他 2019年度 実施一覧

としまアート夏まつり 2 プログラム

計 2 日間 親子 32 組 85 人参加 (大人 43 人・子ども 42 人)

プログラム名	ジャンル	アーティスト	日数	回数	親子組数	大人	子ども	参加人数
親子で楽しむ ぶちライブ!	音楽	KAMOSU	1	2	25	35	33	68
アーティストとあそぼう!	身体表現	目黒陽介、イーガル	1	1	7	8	9	17

2019 年度会計報告

活動計算書

(単位：円)

	2019年度	2018年度	2017年度
I 経常収益			
1. 受取寄附金	840,060	922,016	890,880
2. 受取助成金等	47,536,996	47,718,936	50,712,612
3. 事業収益	20,930,366	18,390,060	18,536,570
4. その他収益	533,698	1,058,716	102
経常収益計	69,841,120	68,089,728	70,140,164
II 経常費用			
1. 事業費	56,916,686	52,815,906	57,073,419
2. 管理費	14,275,029	12,844,836	11,743,048
経常費用計	71,191,715	65,660,742	68,816,467
当期経常増減額	-1,350,595	2,428,986	1,323,697
法人税、住民税及び事業税	70,017	96,117	70,000
当期正味財産増減額	-1,420,612	2,332,869	1,253,697
前期繰越正味財産額	11,570,057	9,237,188	7,983,491
次期繰越正味財産額	10,149,445	11,570,057	9,237,188

※財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日
最終改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

※消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

貸借対照表

(単位：円)

	2019年度	2018年度	2017年度
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,239,997	7,969,248	6,684,643
未収金	3,519,240	4,248,600	3,693,600
未収還付法人税等			15
前払金	314,738	514,841	299,330
流動資産合計	14,073,975	12,732,689	10,677,588
2. 固定資産			
長期前払費用	12,320		
固定資産合計	12,320	0	0
資産合計	14,086,295	12,732,689	10,677,588
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	507,187	168,026	148,099
未払消費税等	606,300	319,200	190,200
未払法人税等	70,000	96,100	70,000
前受金	2,241,922	218,000	695,388
預り金	511,441	361,306	336,713
流動負債合計	3,936,850	1,162,632	1,440,400
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,936,850	1,162,632	1,440,400
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	11,570,057	9,237,188	7,983,491
当期正味財産増減額	-1,420,612	2,332,869	1,253,697
正味財産合計	10,149,445	11,570,057	9,237,188
負債及び正味財産合計	14,086,295	12,732,689	10,677,588

2019年度 支援団体一覧

※個別事業ごとの協賛・助成などを含む

◆ ASIAS

協賛	花王株式会社 花王ハートポケット倶楽部
助成	公益財団法人東京都福祉保健財団 公益財団法人あすなろ福祉財団
協働	文化庁 豊島区教育委員会 豊島区文化商工部文化デザイン課 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団 横浜市芸術文化教育プラットフォーム
寄付	リコー社会貢献クラブ FreeWill

◆ パフォーマンスキッズ・トーキョー

共同主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
助成・協力	東京都

◆ ぞうしがや こどもステーション

共同主催	豊島区文化商工部文化デザイン課
------	-----------------

◆ 団体支援など

受賞	「未来を強くする子育てプロジェクト (子育て支援活動の表彰部門)」 スミセイ未来賞 (住友生命保険相互会社)
協働	公益財団法人パブリックリソース財団 (オンライン寄付サイト Give One)
寄付	個人で寄付いただいた皆様

役員一覧

理事長	堤 康彦
副理事長	市村 作知雄 (特定非営利活動法人 アートネットワーク・ジャパン顧問/ フェスティバル/トーキョー実行委員会 副実行委員長)
理事	河村 めぐみ (アサヒビール株式会社 マーケティング本部 デジタルマーケティング部 担当副部长) 熊倉 敬聡 (元 慶應義塾大学・京都造形芸術大学 教授) 柄田 明美 (国立音楽大学附属図書館主任司書) 坪井 香保里 (特定非営利活動法人インフォメーションセンター) 野村 誠 (作曲家) 藤川 大祐 (千葉大学教育学部 教授) 宮浦 宜子 (Life on the table 代表) 若林 朋子 (プロジェクト・コーディネーター/プランナー)
監事	橋爪 優子 (有限会社 空間創造研究所 研究員)
アドバイザー	糸井 登 (学校法人 立命館小学校 教諭) 岩井 成昭 (美術家) 大西 瞳 (株式会社マインドスケープ チーフプロデューサー) 竹丸 草子 (教育コーディネーター/プロジェクトプランナー)

沿革

1999 年度	任意団体「APA 芸術振興協会」の名称で活動開始
2000 年度	初めての ASIAS 授業実施
2001 年度	「特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち」設立
2003 年度	「第 1 回アサヒビール芸術賞」受賞
2004 年度	拠点を旧豊島区立朝日中学校に移転 「にしすがも創造舎」をオープン
2008 年度	特別支援学級での ASIAS を本格的に開始 「パフォーマンスキッズ・トーキョー」事業開始
2010 年度	児童養護施設での ASIAS を開始
2017 年度	拠点を旧豊島区立真和中学校に移転 「ぞうしがや こどもステーション」オープン
2018 年度	「第 12 回よみうり子育て応援団大賞」奨励賞受賞
2019 年度	「第 13 回未来を強くする子育てプロジェクト (子育て支援活動の表彰部門)」スミセイ未来賞受賞

ご支援のお願い

私たちはプロのアーティストと子どもたちの出会いの場をつくる活動をしています。
この出会いを必要としているたくさんのお子さまたちに私たちの活動を届けるために、
みなさんの助けが必要です。ご支援のご協力をお願い致します。

「未来を支える」サポーターになる

月々1,000円~のご支援により、事業の継続的な運営を支えてください。

サポーターのお申込み

ご寄付はウェブサイトより承ります。

- ・ご寄付をいただいた皆様へは、年に1回、活動報告書をお届けします。
- ・ご寄付の頻度は「毎月」または「3か月ごと」からお選びいただけます。



©松本和幸



芸術家と子どもたちウェブサイト
<https://www.children-art.net>

特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち

〒171-0031 東京都豊島区目白5-24-12 旧真和中学校4階

TEL 03-5906-5705

FAX 03-5906-5706

URL <https://www.children-art.net>

mail mail@children-art.net

発行日：2020年6月
編集・デザイン：保手濱歌織
表紙写真撮影：松本和幸
※無断転載・複製を禁ず